広報 TOKARA としま 5

平成 29 年 05 月 31 日発行（隔月発行）Toshima Villege Public Relation 2017.05. No.227

▲村政座談会（宝島）での様子

▼村政座談会（悪石島）の様子

CONTENT

・十島村政座談会（平島・悪石島・宝島）について掲載しました。
詳しくは＞＞表紙、 2 ページへ
・平成 29 年度新入学生のコメントを掲載しました。
詳しくは＞＞4 ～5ページへ

平成 29 年度村政座談会（平島・悪石島・宝島）が開催されました。

住民と行政が一体となって村政運営を実現するため、毎年開催している村政座談会は、4月 14 日から 18 日までの日程（第 1 行程）で平島・悪石島・宝島を実施しました。

会では例年同様に村の施策方針や、各課の主要事務及び事業等の説明を行った後、地域からの要望事項や村政に対する質疑応答が行われました。

今回、宝島、悪石島は土日と重なり、例年より参加者が非常に多かったため、参加できない方が多かった平島では、参加者が非常に少ないと感じました。

地域の高齢化が進む中、地域組織の活性化に向けた施策の工夫が必要であると感じました。

▲平島での村政座談会の様子

▲平島寄宿舎視察の様子

▲平島視察の様子

▲▼悪石島視察の様子

島名	出席者数内訳		
	男	女	計
平島	13	7	20
悪石島	25	14	39
宝島	33	18	51
合計	71	39	110

県議会議員の方々が十島村視察を行いました。

4 月 22 日（土）に 7 名の自民党県議会議員の方々（瀬戸口三郎議員＜曽於市区選出＞、堀口文治議員＜出水市区選出＞、宝来良治議員＜鹿児島市・鹿児島郡区選出＞、井上章三議員＜薩摩郡区選出＞、大久保博文議員＜鹿屋市・垂水市区選出＞、寺田洋一議員＜鹿児島市・鹿児島郡区選出＞、中村素子議員＜阿久根市・出水郡区選出＞）に十島村を視察していただきました。日程の都合で 7 島のうち中之島、諏訪之瀬島、小宝島、宝島の 4 島のみの視察でしたが、県議の皆様方については熱心に島の状況を確認されておりました。十島村からは現在村が抱えている様々な課題について要望しました。

▲中之島寄木地区の防潮堤の嵩上げ視察

▲中之島水産加工施設の視察

▲諏訪之瀬島座礁船の視察

▲宝島の共同牛舎の視察

▲宝島での懇親会の模様

▲7 名の県議会議員の皆様

トカラふるさとづくり寄附金を積極的に推進します！！

十島村では、ふるさと納税寄附金を利用した活力ある村づくりを進めるため、「トカラふるさと基金」を創設し活用しています。平成 28 年度の寄附額等については、下記のとおりです。

～平成 28 年度トカラふるさとづくり寄付金の状況について～

平成 28 年度の寄附は、**1, 534** 件、**16, 989, 200** 円となりました。（前年度比 +206 件、+253,300 円増）

一般合計	県内			県外		合計		
	個人	職員	団体	個人	団体	個人	団体	合計
件数	51	50	10	1,423	0	1,524	10	1,534
金額	1,402,000	1,682,700	1,310,000	12,594,500	0	15,679,200	1,310,000	16,989,200

平成 29 年度に寄付をいただいた方々（5 月 22 日現在で事前に氏名の公表を了承された方のみ）を公表します。

ありがとうございました。（順不同、敬称略）

個人				企業
木藤　美樹	高木　祥行	安松　大樹	中村　秀勝	吉留建設株式会社
浅野　徹	飯塚　了	神川　工樹	寿　和徳	（有）振興測量設計事務所
森　尋子	長江　忍	小池　俊光	篠原　広明	
高見　昌子	愛甲　譲	伊奈山　厚	森山　勝行	
岡野　真由美	肥後　安哲	町田政治	中村　浩之	
井浪　皓之	永井　宏弥	森岡　崇	永田　幸則	
森永　一生	林田　勇智	久保田　怜子	田仲　純生	
田中　佐和子	加田　裕二	大口　修平	宇高　竹和	

【ご寄附への特典について】

ご寄附をしていただいた方には、お好みの特産品を選んでいただき、旬の時期に送付させていただいております。

十島村で生まれ育った皆さま、またご縁のある皆さま、「ふるさと納税制度」を活用し、むらづくりの応援をお願いします！

十島村ふるさと納税窓口　十島村総務課 TEL099-222-2101

新入学生の皆さん、

ご入学おめでとうございます！

春爛漫の心地よい季節となってきた４月。十島村の小中学校に、希望に満ちた、新入学生がそれぞれ入学されました。今回は、元気いっぱいの新入学生徒、児童をご紹介します。

わたしは、ものをつくることがすきなので、算数ではたくさんのかたちを作ってべんきょうしたいです。中之島小では、おたけ遠足にいきます。のぼったことがないから楽しみです。

中之島小学校　本田　呂亜さん

中学校生活で頑張りたいことは、部活動と勉強です。勉強で特に頑張りたいのは、数学です。部活動ではたくさん練習して夏休みにあるバドミントンの大会でたくさん勝ちたいです。

中之島中学校　羽生　偉琉さん

僕が中学校で頑張りたいことは、勉強です。しっかりと先生の話を聞いて黒板に書いていることをノートに記録するようにしたいです。次は部活です。バドミントンや太鼓を一生懸命頑張りたいです。そして、バドミントンでは、県大会でいい結果を残したいです。

中之島中学校　川畑　佳輝さん

私が中学生になって頑張りたいことは、勉強です。特に、授業が理解できるように予習、復習などをしっかりしていきたいです。楽しみなことは、職場体験です。理由は、他の学校の人に会えることと、普段は見ていることが体験できるからです。これから一生懸命頑張りたいです。

中之島中学校　藤谷　依風希さん

マンゴーとメロンが大好きで将棋の練習をがんばっている口之島小学校１年の林瑞生です。ぼくは、体育で縄跳びとうんていと鉄棒をがんばりたいです。口之島小中学校はみんなが笑顔なところが好きです。これからよろしくお願いします。

口之島小学校　林　瑞生さん

ぼくは、小学生になったので国語のおはなしをよむのをがんばりたいです。きゅうしょくを食べるのも楽しみです。すきなたべものはコロッケとスープなので、きゅうしょくに出てくるのが楽しみです。

中之島小学校　小原澤　拓海さん

小学校で楽しみなことは、昼休みにお兄さんたちとたくさん走ったり遊んだりすることです。また、算数がすきなので、ひきざんをおぼえてたくさんべんきょうしたいです。

中之島小学校　堀之内　蓮さん

国語のかん字やひらがなをたくさん書いてれんしゅうして、いっぱいおぼえたいです。遠足では、おたけにのぼれるかどうかがドキドキするけど、がんばって楽しくのぼろうと思います。

中之島小学校　久木山　陽さん

学校の係りの仕事や、宿題などのやるべきことを先送りにせず、できるだけ最初に立てた計画にそってできるようにしたい。そして、小学生のお手本になれるような中学生になりたい。

悪石島中学校　西　えほんさん

勉強ができるようになりたいです。3時のおやつがなくてもがんばります。今は休み時間に何か作ることが楽しいです。あと、一輪車と掃除もがんばりたいです。

小宝島小学校　岩下　捷人さん

今年は、児童・生徒が８人しかいません。昨年より６人も減った分、一人一人の仕事が増えると思います。自分もしっかり役割を果たしていきたいです。そこで、今年は、「仕事を後回しにしない。」ことを目標に頑張っていきたいです。

小宝島中学校　岩下　孟司さん

今年になって、小宝島小中学校の児童生徒は８人になりました。一人一人の役目が重大になると思います。私は、「自分から行動」という目標を守り、開校２年目の小宝島小・中学校を支えていきたいです。ずっしりとしたかばんをかついで、毎日頑張っていきます。

小宝島中学校　有馬　凜さん

小学生のころよりも大変になったところが多くなり、とまどうところもありますが、早く中学校生活に慣れるようにがんばりたいと思います。先ぱい方を見習い、頼りにされる中学生になりたいです。

宝島中学校　平田　一華さん

今僕が頑張りたいことは勉強です。一番頑張りたいことは数学です。理由は、一番苦手だからです。特に、予習・復習を頑張っていきたいと思います。

中之島中学校　中島　大志さん

あさランで、17しゅうはしれるようになりたいです。それから、なわとびも、じょうずになって、めいじんになりたいです。

諏訪之瀬島小学校　鎌倉　陽菜さん

あさランで14しゅうをめざします。それからなわとびけんていひょうの１きゅうもめざします。

諏訪之瀬島小学校　山崎　郁矢さん

小３のときに初めて島に来た時、これからの事を考えてドキドキしました。特に、中学生でがんばれるだろうかという不安がありました。だけど、今、諏訪之瀬島の中学生になってみると、とてもよかったです。

諏訪之瀬島中学校　日高　凪翔さん

私は、中学校で勉強を頑張りたいです。中学校は小学校と違い、宿題も多くなり、学習内容も難しくなるので、その日に復習と、次の予習をしたいです。この努力を忘れずに、充実した中学校生活を送りたいです。

諏訪之瀬島中学校　金森　七海さん

トカラヤギや牛、ねこなどの動物とたくさんふれあったり、島民の方々と釣りに行ったりして、平島でしかできない思い出をたくさん作りたいです。また、中学生として小学生に手本となるような行動をとりたいです。

平島中学校　池田　美夕さん

宝島　いまきら園

開園３年目を迎えました！

小学５・６年生との交流
小学生の進行で、発表を聞いたり、色々な遊びを教えてもらいました。

小学１・２年生との交流
音楽で歌や合奏を一緒にしました。

ホームたから：シャボン玉あそびを楽しみました。

せつよ先生がやってきた
パネルシアターを見た後、折り紙「おすもうさん」を作ってトントン相撲を楽しみました。

大山栄養士による親子クッキング
≪カレーとサラダ≫みんな包丁を上手に使って野菜を切ることが出来ました。

入園・進級式
一人ずつ名前を言ったり返事をしたりしてクラスごとに歌を披露しました。
たくさんのご参加ありがとうございました。

中之島　ほしのこ園

第3回入園式
ごにゅうえんおめでとうございます。

春の親子遠足
≪楽しかったね≫
お馬さんに、つわやよもぎをあげたよ～！

大山栄養士手作りおやつ
とってもおいしかった！

子育て支援教室
≪子育て支援専門員≫
おすもう遊び
楽しかったね。

口之島　くちっこ園

卒園祝い&転園のお友達と先生のお別れ会！
離れていてもずっと友達だよ。元気でがんばってね！

第2回　入園式
多くの島民の方々にお祝いしていただきました。

交通安全教室
おまわりさんとハイ！チーズ！

親子おやつクッキング
白玉ぜんざい作ったよ。

春の親子遠足

子ヤギにミルクをあげたり
ビワを食べたり楽しかったね。
ありがとうございました。

諏訪之瀬島　すわっこ園

みんなそろって進級式！今年もよろしくね♪

第１回　卒園式（すわっこ園初の卒園児２名）
とっても緊張したね。すごくかっこよかったよ。

修了式の様子！

どのお花もとってもかわいいでしょ♡

公民館で
風船たこあそび～♪

第１回十島村海の幸特産品コンテストが開催されました！

平成29年3月17日（金）、役場本庁にて「第１回十島村海の幸特産品コンテスト」が開催されました。

本コンテストは、国庫補助事業「離島漁業再生支援事業」を活用し、十島村の海の幸を利用した水産加工品を一堂に集め、コンテストを開催することにより、水産加工品の品質向上と水産業活性化を図り、水産加工業の健全な発展を促進し、併せて十島村漁業者の所得向上につなげることを目的に開催しました。

初めての試みでしたが、５島からの参加があり合計16品の出品がありました。コンテスト審査員には、株式会社山口水産商品開発シェフ、鹿児島県特産品協会などの外部から審査員を招き、参加団体と審査員をＴＶ会議でむすび、商品説明などをし、開発した加工品のアピールをしていただきました。

審査は、一次審査で「アイデアの斬新性」、「おいしさ」、「郷土色」、「訴求力」、「将来性」の５項目に分け審査を行い、二次審査で審査員同士の最終審査をもって、グランプリ・準グランプリを決定しました。

出品物一覧

団体名（チーム名）・出品数	出品料理名
口之島（口之島チーム）3品	トカラの目
	トカラのまん中
	トカラの胃袋
中之島（食生活改善推進員）1品	シビの角煮
悪石島（悪石島水産加工グループ）1品	アカボウの燻製
小宝島（こだから美人）7品	うつぼの味噌漬け
	カツオ・サワラのふりかけ
	魚とハンダマの二層蒸し
	食べるドレッシング
	中華風さかな饅
	白身魚とハンダマのゼリー
	魚のそぼろ
宝島（チームたから）4品	ホタあらのブイヤベース
	魚のふりかけ
	サワラ腹皮の味噌焼き
	つけあげ

◀コンテスト開催の様子

◀二次審査の様子

平成29年度もコンテストを実施予定です。皆様の水産加工品開発への取り組みがこれからも継続されることで、水産業の発展、地域の活性化につながることと期待します。

行政・地元で連携を図り、よりよい産業づくりに努めて参りたいと思います。

グランプリ　チーム名：こだから美人　出品名：食べるドレッシング

審査員評価

16品ある中で、審査員満場一致でグランプリでした。県内においても、あまり類似品が無く斬新だということでした。コンテストでは、ドレッシングのみを試食してもらいましたが、「味もよい」と高評価でした。

PRポイント！

○野菜だけでなく、蒸した魚やお肉（鶏・豚など）にかけて食べるとさっぱりして美味しい。
○ゆでた卵とマヨネーズとあえると、簡単タルタルソースになる。
○食べると魚のすり身に弾力があり、歯ごたえがある。
○魚臭さがない。
○フランスパンやクラッカーの上にのせ、オードブルとしても使える。

出品作品のレシピ

材料名・分量		作り方（所要時間）
○とび魚の切り身	100ｇ	① とび魚の身をみじん切りにする。
○きざみにんにく	5ｇ	② フライパンにＡのオリーブオイルを50cc入れ、①をカリッとなるまで炒める。
○たまねぎ（みじん切り）	70ｇ	③ ②に、にんにく・たまねぎ・トマト・を加え炒める。
○ミニトマト（粗くカット）	60ｇ	④ ③にＡとハンダマと青パパイヤを加えて、ひと煮立ちさせる。
○生ハンダマ（みじん切り）	50ｇ	⑤ 粗熱がとれたら、容器にいれる。
○青パパイヤ（粗みじん切）	100ｇ	
Ａ ○塩	15ｇ	
Ａ ○穀物酢	200cc	
Ａ ○砂糖	大さじ5	所要時間　30分
Ａ ○オリーブオイル	200cc	
Ａ ○黒胡椒	適量	
＊黒胡椒の量は多めが美味しかった。		トビウオは、他の魚でも代用できるところが、ポイントでした！

準グランプリ　チーム名：悪石島水産加工グループ　出品名：アカボウの燻製

審査員評価

二次審査の中で、審査員から「おいしい」という声が多くあがりました。ガジュマルのチップを使用した燻製も魅力的で将来性も十分だということでした。

PRポイント

昔からの味が忘れられません。昔から、塩漬けは保存食として常温で保存しており、最初のころは、塩加減と塩抜きに苦労しました。

今では、自分の舌が味を覚えるくらいになりました。美味しいです。お酒のつまみに最高です！（有川和則氏より）

出品作品のレシピ

材料名・分量	作り方（所要時間）
アカボウ	① 3枚おろしにして、長さ20ｃｍ、厚さ1ｃｍ～1.5ｃｍに切り分ける。
※ その他とれた魚なんでも	② おろした身に手塩でうすく叩くように塩漬けする。
	③ 塩漬けした魚を並べて重石5ｋｇ～7ｋｇをして、6時間～10時間ほどオケに漬け込む。（塩がいきわたるように）
	④ 塩抜きを1時間～1時間半行い、ヒモ「ビローの葉」でくくってつるす。
	⑤ ガジュマルで燻し、4時間「やわらか」、6時間「かため」で出来上がり。
	⑥ 完全に冷めてから、真空パックをして冷凍・冷蔵保存。
	所要時間　10時間

カーネーション贈呈式行われる！

▲田知行氏（左）と教育総務課長（右）

5月12日（金）、今年も南埠頭において本名町の田知行義久さんから、十島村の児童生徒にカーネーションがプレゼントされました。

田知行さんは、旧吉田町が鹿児島郡として、子ども会活動や様々な活動を一緒に行っていたころ、花屋のない十島・三島のことを知り、このプレゼントを始めたとのことです。今年で、もう３６回になるとのことで、その熱い想いは益々高まっているように思いました。本当に感謝の気持ちで一杯です。

日頃私たちは、大切な人に対して、感謝の気持ちを表す機会は案外少ないものです。このカーネーションを渡す機会をとおして、親や里親と子どもたちの会話が進み、更に明るく楽しい親子関係が構築されることでしょう。

「寮監さん、いつもありがとうございます。」

「笑顔・笑顔で感謝の日です。」

職員研修を実施しました

3月23日（木）、平成28年度第4回職員研修として「神様からのプレゼント～白血病が教えてくれたこと～」と題した白石いずみ氏の講演劇を実施しました。本庁職員、船員をはじめ、看護師もテレビ会議システムを利用して受講し、皆さん真剣に観劇していました。命の大切や普段の生活について見直す良い機会になったのではないかと思います。

また、5月12日（金）、平成29年第1回職員研修として「法制執務研修（応用編）」をぎょうせいの竹内氏を講師に招いて実施しました。応用編ということで、グループごとに分かれて条例改正の問題を解く演習もあり、参加した職員にとってとても有意義な研修となりました。

講師の皆様、ありがとうございました。

▶白石氏の講演劇の様子

▶法制執務研修の様子

子牛のセリが行われました

4月14日（金）、5月15日（月）に鹿児島中央家畜市場にて、子牛のセリが行われました。結果は次のとおりです。

（税抜価格，単位：円）

	出荷頭数			合計金額			平均価格		
	去勢	雌	計	去勢	雌	計	去勢	雌	計
5月	15	16	31	13,212,000	10,402,000	23,614,000	880,800	650,125	761,742
4月	23	19	42	18,540,000	11,558,000	30,098,000	806,087	608,316	716,619

4月最高価格者

去勢	山木 保 氏
	973,000円
雌	松元 憲治 氏
	845,000円

5月最高価格者

去勢	日高 創 氏
	1,119,000円
雌	平田 伊佐美 氏
	721,000円

▶山木保氏の子牛

▶日高創氏の子牛

トカラヤギの買上を実施しております！！

山羊買上支給に関しましては、平成23年度より実施しており、個人又は自治会等から山羊を買い上げております。

山羊の農作物への被害軽減や生活衛生のためにも山羊を捕獲に御協力をお願いします。

1　支給金名　山羊買上支給金

2　対象者　住民又は自治会等

3　支給金額　山羊１頭につき 5,000 円 (大人山羊・子山羊・雄・雌は問いません)

※村指定する引受先へ運送するものとし、運賃は住民負担とする。

4　必要書類

（1）山羊買上申請書（様式第１号）

（2）山羊買上金支給請求書（様式第３号）

5　申請手続き

（1）搬出の予定が決まりましたら地域振興課担当まで御連絡ください。

※連絡を受けてから山羊コンテナをお送りします。（状況によっては牛コンテナを利用します。）

（2）捕獲状況を出荷先に連絡しますので、搬出直前に山羊買上申請書を出張所に持参し、出張員の確認を受け、申請書の確認欄に確認の押印を受けてください。

（3）下り便（名瀬便）にて、名瀬市等に搬出します。

（4）山羊買上申請書及び請求書を地域振興課まで提出していただき、買上金を希望の金融機関に振り込みます。

土壌改良促進事業を活用して農業をしませんか!!

遊休農地を新たに開墾するにあたり、その基礎となる土壌改良に係る経費を村が予算の範囲内で補助金を交付します。

○補助対象者

1．遊休農地等を活用し事業を行う個人又は団体。
2．村推奨作物を栽培するものであること。ただし、畜産業において、牧草を栽培する場合はこの限りではない。
3．土壌改良を行った農地で栽培された農産物について、販売することを前提として者。
4．税金その他村で徴収する公共料金等に滞納が無い者。
5．農林業の所得に関する税務申告を適正にできる者。

○対象経費

補助対象経費	土壌改良経費(堆肥・苦土石灰・化成肥料・微量要素・ヨウリン)及び運賃の総額
交付回数	事業を行う農地に対し3回まで
交付の率	3/4以内
交付の限度額	1,000㎡あたり130,000円以内

○手続方法

①「補助金交付申請書」「事業計画書」を提出する。　②村から「補助金交付決定通知書」が交付される。
③土壌改良を実施する。
④土壌改良が完了したら、「事業実績報告書」「購入した肥料等の数量が分かる写真」「散布している写真」「領収書及び明細書」を提出する。
⑤村から「補助金確定通知書」が交付される。　⑥「請求書」を提出し、補助金が交付される。

肥料や面積に対する肥料の割合、土壌改良の相談等は十島村役場地域振興課 (TEL　099-222-2101) までお問い合わせください。

村営住宅・空家改修住宅へ入居中の皆様へお知らせ

現在村営住宅・空き家住宅につきましては移住・出産その他事情により、単身用住宅で家族世帯が生活するというような状況が生じております。併せて、進学など世帯構成の変化により、世帯用住宅に単身で入居されているというケースもございます。

このような状況を踏まえ、3 月議会において以下のとおり「十島村村営住宅の設置及び管理に関する条例（平成 10 年条例第 6 号）」の一部を改正しましたので、その概要をお知らせいたします。

1. 入居者の皆様には毎年料金改定時に年次誓約書を提出していただき、 世帯構成の把握をいたします。

2　入居者の皆様の世帯構成が変化し、 かつ島内に世帯構成に適した別の住宅の空きがある場合には住宅間の移動を行ってもらうことがあります。

本条例は平成 30 年 4 月 1 日より適用となります。

今後とも住宅の維持、管理運営にご協力をいただきますようお願い致します。

燃料輸送円滑化補助事業について！

この事業につきましては、平成 27 年度から開始した事業であり、「フェリーとしま」での燃料輸送（ガソリン）において鹿児島からの積込み待ちが多数発生している状況であるため、更なる積込み待ちの軽減を図るため、奄美大島からのガソリン購入経費を一部補助する制度となっております。

口之島、中之島においては、これまで同様、鹿児島からの運賃が安価ですが、それ以外の島については名瀬からの運賃の方が安価となりますので、特に諏訪之瀬島、平島、悪石島、小宝島、宝島にお住まいの方々は、この補助金を活用して、名瀬から購入を検討していただき、積込み待ちの解消にご協力賜りますようお願いします。

1　補助金の名称　燃料輸送円滑化事業

2　補助対象者
①　村内に住所を有している者
②　村内に住所を有している者が運営する村内の事業者
※ただし、次のような要件があります。
(1)　税金その他村で徴収する公共料金等に滞納がない者
(2)　使用後の空き容器を購入した燃料販売店に返還した者
(3)　定期船運賃に未納がない者

3　交付対象経費　奄美大島に所在する燃料販売店から購入したガソリンを名瀬港から定期船で 村内に輸送する際に要する次の経費
①　ガソリンの購入代金、及び名瀬港からの運賃
②　ガソリン使用後の空き容器の名瀬港までの運賃

4　補助金の額　交付対象経費から基準額を差し引いた額（基準額は、運賃・手数料を含む十島村漁業協同組合からの仕入額）

5　申請期限　空き容器を搬出した日から 1 年以内

6　必要な書類　別途村で定める申請書及び請求書のほか、次の書類が必要となりますので、申請するまで紛失されないよう保管ください。
①　ガソリンを購入した日付・代金がわかる請求書または領収書写し
②　ガソリン入り容器の名瀬港からの定期船運賃の領収書写し
③　空容器の名瀬港までの定期船運賃の領収書の写し

【問い合わせ】十島村役場　地域振興課　産業振興室

十島村産品等輸送費支援事業について

この事業は、平成 25 年度から実施しており、本村で生産された産品の出荷運賃（鹿児島県本土のみ対象）を一部補助するものであり、平成 29 年度から補助に該当する産品や、補助率等が一部変更になったため、再度、皆様へお知らせいたします。

今後の産品開発等に当該事業を活用いただけたら幸いです。

1. 事業名

十島村産品等輸送費支援事業（移入・移出）

2. 補助対象

（1）移出

本村各島で生産・製造された産品を、鹿児島県本土へ出荷する事。

【補助対象戦略産品】

①農産加工品　　②魚介類（塩蔵 , 乾燥物）

③その他の林産品　　④その他の食料工業品

（2）移入

本村各島で生産・製造された産品の移出に伴う原材料及び梱包資材等を鹿児島県本土から入荷する事。

【補助対象戦略産品】

①農産加工品にかかる製造工業品　　②魚介類（塩蔵・乾燥もの）にかかる製造工業品

③その他の林産品にかかる製造工業品　　④その他の食料工業品にかかる製造工業品

3 補助率

村営定期船における輸送経費 (貨物運賃、荷役料、村内荷役料) の 8 割を上限として補助する。

4 必要な書類

①村が定める申請書、請求書　　②海上輸送に係る支払の証明書類等

5 補助対象期間

平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

（※但し、3 月の輸送費の支払いが翌年度にまたぐ場合は、適用外となります。）

【問い合わせ】十島村役場　地域振興課　産業振興室

集中豪雨や台風時の大雨に備えましょう！

近年、局地的に短時間で多量の雨が降る「集中豪雨」が増えています。本村においても、昨年度、「50 年に 1 度」の大雨を記録しており、大雨による被害も発生しております。大雨、集中豪雨は、時期や規模をある程度予測することができます。普段から気象情報に注意しいざというときに備え、家庭ではもちろん、まちぐるみで、日頃から対策を取りようにしましょう。

浄化槽を設置されている方へ
浄化槽定期検査受検のお願い

浄化槽は私たちの生活から排出された汚水を浄化し、きれいな水にして流すことができる装置です。そのため、業者に委託して行う「保守点検」と「清掃」をきちんと行い、水質に関する「法定検査」を受けることが義務付けられています。

・定期検査（浄化槽法第 11 条）

浄化槽の保守点検及び清掃が適正に行われているか、また適正に使用され浄化槽の機能が正常に維持されているかを検査し、併せて浄化槽から放流される水が基準以下のきれいな水になっているか、処理水を持ち帰り詳しい水質検査（ＢＯＤ）を実施します。不適事項があれば、行政及び関係者が状況を把握するとともに早期にそれを是正することを目的にしています。

※BOD(生物化学的酸素要求量) とは水の汚れの程度を表す指標です。合併処理浄化槽は 20mg/L 以下という基準が定められています。

・検査料金（一般家庭 5 人槽～ 10 人槽）

	内　容	人間でいえば･･	自動車でいえば･･
保守点検	機能を保つためのメンテナンス作業（消毒薬の補充、モーターの点検等）	日常の健康管理	ガソリン補給やオイル交換
法定検査	維持管理状況及び放流される処理水の水質検査(BOD)	定期健康診断	車　検

検査料金	単独処理浄化槽	合併処理浄化槽
定期検査	4，000円	6，000円

検査対象となった浄化槽 (設置年度ごとに対象としています) については事前に指定検査機関から日程通知がありますので必ず受検していただきますようお願いします。

【問い合わせ先】

●鹿児島県知事指定検査機関

（公財）鹿児島県環境保全協会

TEL：０９９－２９６－９０００

http://www.kagoshima-kankyou.or.jp/

●十島村住民課環境衛生係

TEL：０９９－２２２－２１０１

★退職職員のお知らせ★ ※有川さんと西田さんは引き続き、出張所長、看護師として勤務していただいています。

この度３月末日をもちまして定年退職いたしました。26 年余りの海上勤務でしたが、皆様方のご指導、ご厚情により公私ともども充実した日々を過ごすことができました。心から厚く御礼申し上げます。

フェリーとしま機関長　中村　義秀　さん

平成 27 年３月に入庁してからの約２年間、十島村役場の保健師として働かせて頂きました。不慣れな点も多く、皆様にご迷惑をおかけしてしまうこともあったかと思いますが、十島村の皆様に大変よくして頂き、感謝の気持ちでいっぱいです。短い期間ではありましたが、本当にありがとうございました。

住民課保健師　堂園　彩乃　さん

十島村の皆様、毎日おつかれ様です。諏訪之瀬島へ 11 年間、口之島へ 12 年間お世話になりました。23 年間山あり、谷ありの人生を楽しく過ごさせていただきました。地域医療とは、人と人のつながりで難しいですが、これからも努力し、勉学していきます。今年４月から新たに頑張ってまいります。よろしくご指導ください。

口之島診療所看護師　西田　昭子　さん

皆様のご支援のおかげで 20 年９ヶ月、悪石島出張員として勤め、無事に定年を迎える事ができました。ありがとうございました。これからは、一村民として、地域貢献できるよう励んで参ります。今後も、よろしくお願い申し上げます。

悪石島出張所出張員　有川　浩一　さん

３年間でしたが、教育委員会の社会教育担当として、十島村ファミリー劇場、国民文化祭、村民体育大会実行委員会等、大変お世話になりました。今年の 11 月の村民体育大会では、国民文化祭の時と同じように「心をひとつにつなぐ」十島を実現して欲しいと思います。十島村の皆様のご多幸を、心よりお祈りしております。

社会教育指導員　上薗　良二　さん

教育委員会に４年間お世話になりました。熱意ある先生方とともに、十島の教育に携わらせていただき感謝しています。また、二つの分校の本校設置という貴重な機会に立ち会えたことは、大変幸せでした。先生方は、テレビ会議システムによる合同授業や日頃の教育実践を持ち寄っての研究大会の取組などを通して、授業力の向上に熱心に取り組んでいました。今後も「十島はひとつ」の思いで心をひとつにし、郷土愛に満ち、確かな学力を備えた児童生徒の育成に努めてほしいと願っています。島民の皆様にも大変お世話になりました。有難うございました。

学校教育指導監
﨑田　憲司　さん

去年の４月から約１年間大変お世話になりました。地域おこし協力隊として１年を振り返ってみると口之島の地域の皆様に協力して頂く事の方が多かったなと改めて実感しております。島での仕事や生活は今後の人生において、必ず活かせるものだと自信を持って旅立てます。素晴らしい経験をさせて頂きありがとうございました。ご健康に留意され、ご活躍くださいますようお願い申し上げます。

地域おこし協力隊　杉村　剛　さん

教職員異動のお知らせ

各島小中学校より転出される先生方、転入される先生方をご紹介します。転出される先生方におかれましては島の子ども達の為に一生懸命教鞭をとって頂き、ありがとうございました。新しく転入される先生方におかれましては、厳しい環境での生活となりますが、よろしくお願い致します。

転出者		
島名	氏名	
口之島	花田　豊	赤岩　里菜
	浜田　昭人	山之口　健斗
	永吉　康弘	鮫島　久子
中之島	宮村　雄一郎	床並　竜児
	大迫　聡子	
諏訪之瀬島	池田　伸吾	梅園　佳子
	中西　真由	久保田　真澄
平島	中村　幸一郎	横山　由季
	中馬　芳樹	宮田　直彦
	石垣　菜奈	
悪石島	鹿倉　高行	
小宝島	上三垣　賢一	井手口　剛
	下川　知紀	福田　美優
	坂口　明音	
宝島	池田　恵美	寺師　史晃
	大戸　理慎	野村　優也
	名切　丈史	下野　綾望

転入者		
島名	氏名	
口之島	平川　淳一	池田　厚美
	前　芳樹	大村　ひさ子
中之島	平山　晃	杉野　弘一
	川畑　勝巳	
諏訪之瀬島	中川原　俊一	中武　美咲希
平島	平田　歩実	田中　康成
	岩元　知紘	中森　陽子
	下舞　桃子	
悪石島	濵田　星也	宇都　亜矢乃
	井元　皓平	
小宝島	萩原　秀一郎	久保田　真澄
	赤星　郁衣	倉村　健之
宝島	岩下　祥和	梅園　佳子
	馬見新　太郎	竹下　祐
	桑水流　知佳	清水　秀樹

※順不同、敬称略

★新規採用職員のご紹介★

４月から保健師として働かせていただくことになります。十島村のことをもっと知って、村のために頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

住民課保健師　新冨　健一　さん

フェリーとしまの乗組員として、頑張っていきたいです。安全及び快適な運航が出来るように努めようと思います。

フェリーとしま　髙橋　伸　さん

はじめまして。フェリーとしまの澤翔太と申します。フェリーとしまには今日まで２年間働かせていただきました。４月からは正規職員として、またフェリーとしま、島民の方々にお世話になります。今まで以上に気を引き締めて、十島村の力になれるよう日々精進してまいります。

フェリーとしま　澤　翔太　さん

こんにちは。本年度より、フェリーとしまに乗船する事になりました。川原大輝と申します。自然豊かな十島村で働ける事に喜びを感じています。誠実に一生懸命勤務していきますので、よろしくお願い致します。

フェリーとしま　川原　大輝　さん

40 年前、親友の出身地、宝島で２週間の夏休みを過ごしました。なつかしく美しい思い出があります。その十島村で働く機会を得ました。自分の持てる力を精一杯使いきりたいと念じています。

学校教育指導監　今村　徳幸　さん

多くの人々を魅了する豊かな自然、伝統文化や歴史の十島村に勤務することができ、大変喜んでいます。また、離島ならではの特色ある社会教育活動に驚いています。精一杯がんばります。よろしくお願いいたします。

社会教育指導員　和田　章一　さん

すばらしい『十島村誌』ができていますので追録作成のプレッシャーも大きいですが、一生懸命頑張りたいと思います。資料収集等でお世話になることも多いかと思いますが、よろしくお願い申し上げます。

村誌編集委員　麓　純雄　さん

すばらしい内容の村誌の追録ということで責任も重いものがありますが、資料に基づいた読みやすい村誌になるよう努め、十島村への理解を深めたいと思います。

村誌編集委員　井上　俊秀　さん

地域おこし協力隊の観光支援員として、東京より宝島へ参りました。宝島をはじめ、十島村の魅力を発信していきたいと思います。ご指導お願いします。不慣れなことも多々あるかと思いますが、皆様よろしくお願い致します。

地域おこし協力隊　衣笠　淳子　さん

県内で一番人口が増えている市町村として大変興味がありました。私は２年間、国の仕事で南太平洋の小さな島国で働きました。国境離島は大変重要な地域として国もとらえています。水産指導員として十島村の発展に寄与していきたいと思います。

水産指導員　岩元　善巳　さん

この度の異動で鹿児島市立吉野東小から参りました。普段は村役場横にある教育委員会での勤務ですが、食に関する訪問指導で十島の子供達に会えるのを楽しみにしているところです。子供たちの健やかな成長のため精一杯がんばります。どうぞよろしくお願いします。

栄養教諭　大村　ひさ子　さん

平成29年度 当初予算

平成 29 年度の当初予算がまとまり、3 月議会定例会において承認されましたので、主な事業と一般会計の歳入・歳出状況についてお知らせいたします。

平成29年度の予算は、村財政の財源不足は継続していますが、これまで取組んできた政策を継続・強化することを基本とし、**「定住促進対策の強化」、「産業振興対策の推進」、「少子高齢化や地域づくり対策の強化」、「生活環境対策の充実」、「交通対策の向上」、「情報通信基盤対策の整備」、「行財政対策の強化」**を主要政策として、第5次総合振興計画や地方創生総合戦略の実現に向け引き続き取り組む方針です。

▶会計別予算規模の推移（単位：千円・%）

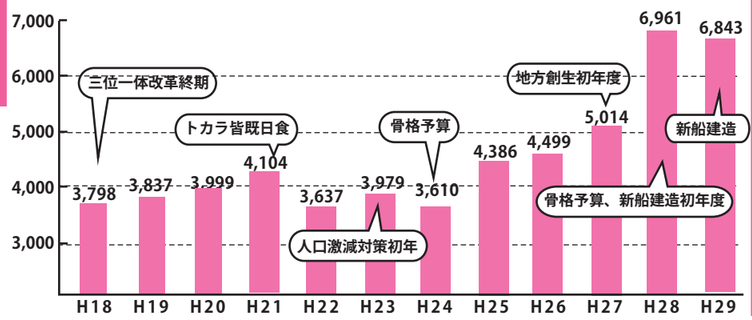
会計名称	平成28年度	平成29年度	増減額	増減比
一般会計	3,602,099	3,921,532	319,433	8.9
国民健康保険特別会計	119,692	117,151	△2,541	△2.1
船舶交通特別会計	3,026,926	2,655,178	△371,748	△12.3
介護保険特別会計	95,465	87,902	△7,563	△7.9
介護サービス特別会計	1,080	1,064	△16	△1.5
簡易水道特別会計	108,967	53,041	△55,926	△51.3
後期高齢者医療特別会計	6,463	7,452	989	15.3

予算規模は平成24年度以来の減額

○ 一般会計　3,921,532 千円
対前年度比　+319,433 千円
+8.9%

○ 特別会計　2,921,788 千円
対前年度比　△412,181 千円
△12.4%

>> 総額 6,843,320 千円 (-1.7%) の減額予算



▲会計当初予算規模の推移（単位：百万円）

歳入の主な特徴

（1）個人村民税、法人村民税ともに減少。固定資産税は増加。

（2）普通交付税、特別交付税は増加。臨時財政対策債は減少。

（3）国庫支出金は、減少。災害復旧事業費の減、道路新設改良事業費の減、港湾建設事業費の減が大きく影響。

（4）県支出金は、前年度が骨格予算であり、特定離島ふるさとおこし推進事業などの政策的なハード事業を中心に6月補正予算での対応していたものを平成29年度は当初予算に計上しているため、大幅な増。

（5）繰入金については、地方創生の繁殖雌牛導入事業の財源として未利用の飢饉から繰り入れているものなどが影響し増加。

（6）村債については、国庫及び県補助を伴うハード事業など政策的な事業に連動して増額。

◀歳入主なもの（単位：千円・%）

歳入費目	歳入額	増減額	増減比
村税	63,519	89	0.1
地方交付税	1,321,360	68,032	5.4
国庫支出金	1,080,257	△75,664	△6.6
県支出金	426,123	207,344	94.7
繰入金	419,400	55,942	15.3
村債	427,600	43,900	11.4

◀積立基金現在高の推移（単位：千円）

基金名称	H27末残高 決算額	H28末残高 見込額	H29当初 予算増減	差引残高
財政調整基金	400,691	581,492	△161,098	420,394
減債基金	484,340	375,869	△50,466	325,403
渡船基金	918,575	548,934	0	548,934
住民医療費運営引当基金	300,000	300,000	0	300,000
災害引当基金	100,000	100,000	0	100,000
肉用子牛価格安定基金	191,800	136,500	△45,500	91,000
地域振興基金	405,589	548,934	△140,000	408,934
トカラふるさと基金	13,238	19,865	4,787	24,652
合計	2,814,233	2,611,594	△392,277	2,219,317

◀一般会計自主財源と依存財源（単位：千円）

区分	項目	一般財源	特定財源	合計
自主財源	村税	63,519	—	63,519
	分担金及び負担金	2	83	85
	使用料及び手数料	—	71,265	71,265
	財産収入	13,043	2,227	15,270
	寄附金	1	27,732	27,733
	繰入金	301,564	117,836	419,400
	繰越金	1	—	1
	諸収入	2,815	26,179	28,994
	【自主財源計】	380,945	245,322	626,267
依存財源	地方譲与税	22,704	—	22,704
	利子割交付金	27	—	27
	配当割交付金	175	—	175
	株式譲渡割交付金	179	—	179
	地方消費税交付金	5,500	4,496	9,996
	自動車取得税交付金	2,843	—	2,843
	地方特例交付金	1	—	1
	地方交付税	1,325,360	—	1,325,360
	国庫支出金	—	1,080,257	1,080,257
	県支出金	—	426,123	426,123
	村債	56,000	371,600	427,600
	【依存財源計】	1,412,789	1,882,476	3,295,265
	≪合計≫	1,793,734	2,127,798	3,921,532

歳出の主な特徴

（1）普通建設事業費は、前年度が骨格予算のため6月補正で増額したが、本年度は当初予算に計上しているため増。

（2）人件費は、副村長の配置等に係る特別職の給与費、平島および悪石島の簡易郵便局員にかかわるもの、村誌の編さんに係るもので増。

（3）物件費は、公会計制度に関する委託費、簡易郵便局管理・整備、地域子育て支援拠点事業、地方創生拠点整備事業、単独竹林改良費、村民体育大会で増。

（4）維持補修費は、道路維持（道路台帳整備等）に係る費用が減少。

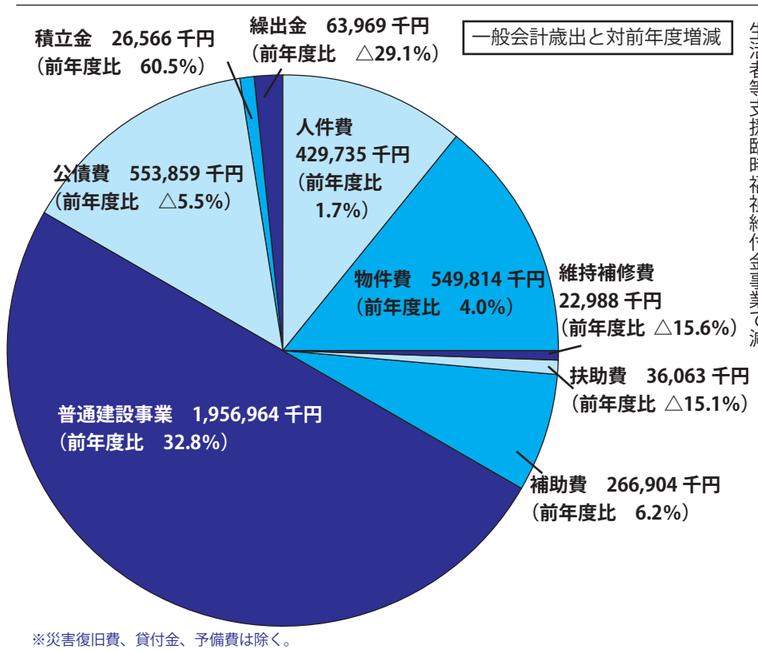
（5）扶助費は、新規事業である離島地域不妊治療支援事業、ミルク・紙おむつ支援事業で増、老人福祉施設措置費、障害者自立支援経費、年金生活者等支援臨時福祉給付金事業で減。

（6）補助費は、各種団体等補助費（宿泊費助成）、新規の国境離島（航路運賃低廉化）、定住促進対策事業費、新規の老人クラブ交流事業、新規のほほえみ療育経費助成事業、妊産婦検診補助事業、各種団体補助金交付事業（環境衛生）、補助離島活性化（移出・移入運賃補助）、生産施設整備補助、特定離島（生活物資輸送費支援）、離島高校生修学支援費、地域おこし協力隊員の高齢者支援、水産支援、観光支援の増などが影響。

（7）公債費は、過去の港湾事業等の大規模事業の地方債償還終了に伴い減少。

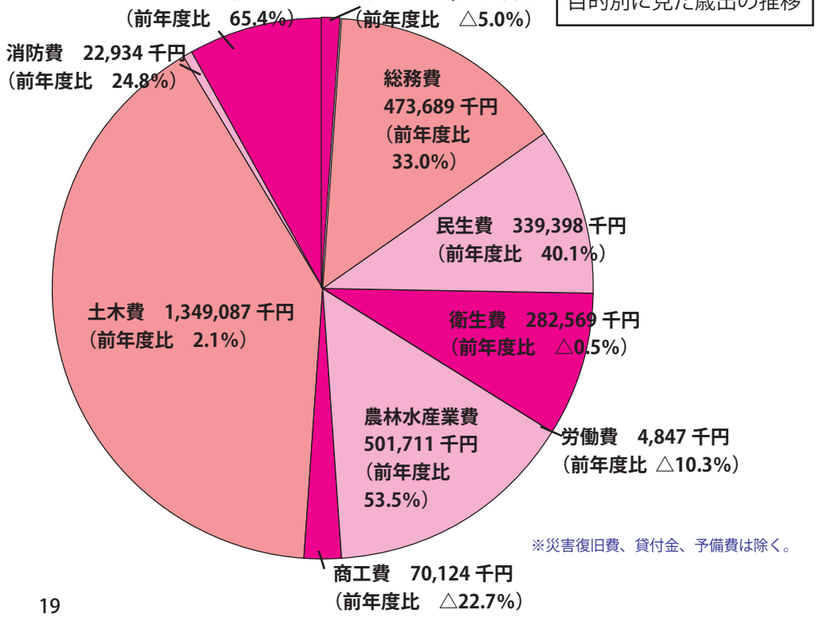
（8）繰出金は、船舶特会繰出金（その他）で離島運賃割引補助を国境離島（航路運賃低廉化事業）で対応すること等により減。簡易水道特会の減は、前年度は特定離島事業を実施した影響等により減。

一般会計歳出と対前年度増減



※災害復旧費、貸付金、予備費は除く。

目的別に見た歳出の推移



※災害復旧費、貸付金、予備費は除く。

トカラふるさと基金の活用事業

平成 29 年度当初予算活用充当額　20,213 千円　　積立見込額　25,000 千円

○	地域振興推進事業	活用額 2,186 千円	事業費 5,523 千円
○	定住促進対策事業	活用額 1,600 千円	事業費 23,581 千円
○	特定健診巡回診療事業	活用額 1,000 千円	事業費 3,139 千円
○	妊産婦検診補助事業	活用額 500 千円	事業費 1,279 千円
○	産後ケア事業	活用額 180 千円	事業費 370 千円
○	ミルク・紙おむつ支援事業	活用額 1,000 千円	事業費 1,298 千円
○	体験保育費助成事業	活用額 800 千円	事業費 969 千円
○	住宅リフォーム助成事業	活用額 500 千円	事業費 1,000 千円
○	環境緑化推進事業	活用額 132 千円	事業費 637 千円
○	列島マラソン事業	活用額 2,500 千円	事業費 3,403 千円
○	非常備消防一般経費	活用額 1,600 千円	事業費 6,247 千円
○	海外ホームスティ派遣事業	活用額 415 千円	事業費 2,530 千円
○	文化財保護対策費	活用額 500 千円	事業費 6,643 千円
○	ファミリー劇場事業	活用額 1,500 千円	事業費 1,600 千円
○	村民体育大会事業	活用額 5,800 千円	事業費 5,806 千円

29年度当初予算の主な事業

新規事業を中心に主だったものを紹介します。

新…H28 新事業

○　総務費

指定宿泊所宿泊費助成事業　事業費 5,100 千円

鹿児島市、奄美市に所在する村指定の宿泊所宿泊費を助成しています。昨年は終期設定の関係で 8 月までの予算計上でしたが、本年度は通年で計上しているため、増加しています。

新 特定離島 (IT 促進対策)　事業費 6,480 千円

故障の多い現在のブロードバンド環境の改善に向けた調査等を実施します。

新 特定離島 (テレビ共聴施設整備)　事業費 31,320 千円

諏訪之瀬島のテレビ共聴施設を同軸ケーブルから光ケーブルへ更新することにより、住民サービスの向上、観光客等の利便性向上を図ります。

新 簡易郵便局整備事業　事業費 29,229 千円

諏訪之瀬島及び小宝島に簡易郵便局を整備するとともに、平島及び悪石島の簡易郵便局の開局に向けて取り組みます。

新 国境離島（航路運賃低廉化）　事業費 4,010 千円

近隣諸国の海洋活動が活発化している状況に鑑み、平成 29 年 4 月に施行する有人国境離島法に基づく施策を推進し、特定有人国境離島地域の地域社会の維持を支援する為の国の交付金制度を活用した運賃低廉化を行います。これまでの離島住民割引制度に変わる制度です。

新 本庁舎の在り方検討事業　事業費 1,188 千円

「本庁の在り方検討会」（委員会方式）を立ち上げ、庁舎移転、出張所機能強化、分庁方式などに関して、これまでの経緯及び時代の変化を踏まえ議論を行い、平成 29 年度から平成 30 年度の 2 ケ年の間で当面の結論を導き出すこととします。

○　民生費

定住促進対策事業　事業費 23,581 千円

定住促進のため 3 年目の節目、及び転入費用を、子どもの増加促進のため出生、入学祝金、及び中学生以下生活支援金を交付するほか、婚姻にも交付金を交付します。

住民医療費助成事業　事業費 2,212 千円

一定の要件を満たした方が負担する医療費の一部を助成します。

高齢者優待乗船券事業　事業費 6,745 千円

70 歳以上の方を対象に年 12 往復できる乗船券を交付します。

新 地域おこし協力隊（高齢者支援）　事業費 4,152 千円

特別交付税で措置される地域おこし協力隊を活用して、高齢者支援活動などの事業を進めます。

新 老人クラブ交流事業　事業費 225 千円

島間の老人クラブの交流事業を進めるにあたり、船運賃、宿泊費等を助成します。

新 ほほえみ療育経費助成事業　事業費 1,070 千円

島間の老人クラブの交流事業を進めるにあたり、船運賃、宿泊費等を助成します。

新 住宅リフォーム助成事業　事業費 1,000 千円

高齢者居住環境整備支援事業及び高齢者等住宅改造推進事業の類似事業の見直しを図った新規事業です。高齢者要件を撤廃し住宅の増改築に助成をします。

介護基盤整備事業　事業費 17,585 千円

地域の実情に応じ住民が主体的に参画した地域支え合い体制づくりを推進するため複合的な機能を果たす拠点として平島・口之島における介護予防拠点を整備します。

地域子育て支援拠点事業　事業費 44,117 千円

地域全体で子育てを支援する基盤の形成を図るため、子育て家庭の支援活動の企画、調整及び実施を担当する職員を配置し、子育て家庭等に対する育児不安等についての相談指導、子育てサークルの支援、地域の保育需要に応じた保育事業等を積極的に実施します。

新 地方創生拠点施設整備事業（子育て支援及び高齢者支援）　事業費 106,000 千円

悪石島及び小宝島に子育て支援及び高齢者支援を目的とした多世代交流推進施設を整備します。

体験保育費助成事業　事業費 969 千円

乳幼児の保育体験を目的に村外に旅行する費用の一部を助成します。

○　衛生費

特定診療科巡回診療事業　事業費 3,139 千円

県の支援を受け、歯科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科の診療を行います。

新 離島地域不妊治療支援事業　事業費 1,081 千円

安心して子どもを産み育てられる環境づくりを進めるため、不妊治療をうける方に対し、その費用の一部を助成します。

特定離島 (ブヨ駆除)　事業費 5,514 千円

口之島、中之島のブヨ駆除に要する経費です。

特定離島 (ハブ駆除)　事業費 500 千円

小宝島、宝島のハブ駆除を促進するための買い上げ金です。

新 特定離島（ごみ処理施設整備）　事業費 33,888 千円

平島及び小宝島に焼却施設を新しく整備します。

○　労働費

現業業務事業　事業費 4,847 千円

現業業務員の作業に関する経費や意見交換などに要する費用です。

○　農林水産業費

就業者支援事業　事業費 33,522 千円

一定の要件を満たす転入から間もない UIﾀｰﾝ者を対象に、村で自立するために産業に従事した日数に応じて、奨励金を交付します。

地域振興（味わいフェスタ事業）　事業費 2,800 千円

十島村の大自然のなかで生産されたトカラの食材多くの消費者に知ってもらい、食を通じてトカラの素晴らしさを発信し、購入消費者の促進を図ります。

新 国境離島（輸送コスト支援）　事業費 3,529 千円

特定有人国境離島地域社会維持推進交付金を活用して本土からの遠隔性に起因する条件不利性を緩和するとともに、基幹産業である農水産業の新興を図り、雇用を拡充する観点から、農水産品全般（加工品以外）の出荷や原材料の輸送に係る費用を支援します。

特定離島 (防舷材等整備)　事業費 55,090 千円

平成 30 年 4 月に就航予定の代替船船体が現行船より大きくなるので、既存の港湾施設では安全な定期船接岸に支障を来す恐れがあることから防舷材等の港湾附属施設を整備します。

補助港湾建設事業　事業費 687,500 千円

東之浜港と小宝島港の防波堤の整備を進めます。

地域再生計画（港湾）　事業費 230,000 千円

切石港防波堤の改良、小宝島港泊地の浚渫を計画しています。

特定離島（定住促進住宅整備）　事業費 87,029 千円

定住人口の確保のため、島外からのＵＩターン者及び住宅困窮者向けの住宅を整備します。平成 29 年度については、悪石島及び小宝島に 2 世帯長屋をそれぞれ 1 棟ずつ新築、その他、諏訪之瀬島の住宅の増築工事を実施予定です。

○　消防費

新 特定離島（防災行政無線デジタル化事業）　事業費 4,515 千円

アナログ式の防災無線を現在利用していますが、整備してから 10 年以上が経過し、経年劣化に伴い故障が多く発生していることから、防災行政無線のデジタル化に向けた調査設計を行います。

○　教育費

離島高校生修学支援事業　事業費 5,251 千円

村外に滞在し、通学する高校生の滞在費用及び帰省に要する交通費を支援します。

補助離島活性化（山海留学・ＰＲ）　事業費 13,539 千円

平成 29 年度は 17 名の受け入れを見込んでいるほか、里親の離島時のサポート家族に対する経費を支援します。

集合学習事業　事業費 728 千円

小学 5.6 年生を中之島に集め集合学習を行うとともに歴史民俗資料館・天文台での学習も行い、社会教育施設の活用にもつなげます。

新 へき地教職員住宅整備事業　事業費 75,016 千円

教員住宅については、老朽化に伴い、多額の維持補修費がかかり、空き家も増えていく傾向にあることから、住宅不足の解消と教員の生活環境の改善を図るために、29 年度から教員住宅の整備を再開します。平成 29 年度は、諏訪之瀬島及び宝島の整備を予定しています。

新 へき地寄宿舎整備事業　事業費 39,700 千円

人口減少に伴う小中学校児童生徒の減少を防ぎ、学校存続のために、留学制度の拡充を図ることを目的として、平島に寄宿舎を整備しますが、2 カ年事業として、28 年度に整備の中学校寄宿舎の増築分として、平成 29 年度、小学校寄宿舎の整備を行います。

新 村誌編さん事業　事業費 5,324 千円

村誌の編集（追録）を図るために、村誌編集委員を 2 名配置し、現地調査等を行い、村誌の追録作業を実施します。

新 特定離島（家畜保護施設整備事業）　事業費 30,866 千円

小宝島において牛舎を整備します。

地方創生（黒毛和種優良肉用繁殖雌牛導入事業）　事業費 52,408 千円

農家の規模拡大のため、積極的に優良繁殖肉用雌牛の導入を進め、農家の経営安定化と村全体の母牛頭数 1 千頭を目指します。

新 特定離島 (かんがい・排水施設整備)　事業費 8,300 千円

宝島に農業用水タンクを整備し、農産物の出荷や規模拡大等に向けた取り組みの後押しします。

補助林道舗装事業　事業費 40,060 千円

口之島の林道前岳線について、国の補助事業である農山漁村地域整備交付金を活用して舗装整備し、林業振興・地域振興につなげます。

単独竹林改良事業　事業費 1,406 千円

諏訪之瀬島及び悪石島が出荷している大名たけのこについて、間伐などの肥培管理を行い、生産量を増やし、トカラ産の大名タケノコのさらなる販路拡大を目指します。

新 補助離島活性化（林業施設整備）　事業費 3,649 千円

ヒサカキ栽培等を実施している悪石島について、平成 29 年度から出荷が見込まれるため，冷蔵施設の整備を行い、品質維持管理及び夏期の出荷に備えるため、プレハブ冷蔵庫を整備します。

新 特定離島（漁船漁業利便施設整備）　事業費 25,809 千円

口之島の漁船上架施設の軌条施設を整備するとととともに、悪石島の漁船上架施設のウィンチを新しく整備します。

新 地域おこし協力隊（水産支援）　事業費 4,000 千円

特別交付税で措置される地域おこし協力隊を活用して、水産業の活性化を図ります。

新 漁港建設費　事業費 50,000 千円

小宝島城之前漁港施設の適切な維持管理・更新等に努めるため、国の補助事業である水産物供給基盤機能保全事業を活用し、小宝島城之前漁港の機能保全計画を策定するとともに、地域再生計画に基づく施設改良整備を実施し、水産振興・地域振興を図ります。

○　商工費

特定離島 (生活物資輸送支援)　事業費 12,887 千円

生活に欠かせない食料品の運賃を支援し、生活費の負担軽減を図ります。

地域振興（観光地整備）　事業費 4,800 千円

口之島コミュニティーセンター前のカワ（水場）の公園整備を行います。

新 地域おこし協力隊（観光支援）　事業費 4,000 千円

特別交付税で措置される地域おこし協力隊を活用して、観光業の活性化を図ります。

新 地域振興（観光ガイド育成）　事業費 1,201 千円

島内研修や講習会の実施などを行い、観光ガイドの育成を図り、観光振興につなげます。

○　土木費

補助道路新設改良事業　事業費 180,334 千円

中之島海岸線、平島東海岸線、切石元浦線、宝島星窪線などの新設改良工事を要望しています。

十島村の平成 27 年度決算の財務諸表を公表します

～総務省改訂モデルによる財務諸表～

十島村がもつ資産、負債等のストック情報や行政サービス等を過去から現在、将来にわたって把握するために「総務省方式改訂モデル」による平成 27 年度決算に基づく財務諸表 4 表を作成しました。

財務諸表 4 表には、①貸借対照表（バランスシート）、②行政コスト計算書、③純資産変動計算書、④資金収支計算書がありますが、これら財務諸表 4 表を作成･公表することで、行財政の改革や、財源の配分等に活用します。

1．貸借対照表（バランスシート）

貸借対照表とは、年度末において、村が住民サービスを提供するために保有している資産（土地、建物、現金等）と、その資産をどのように財源（負債・純資産）で賄っているかを総括的に表したものです。資産合計と負債・純資産合計が一致し、左右のバランスがとれている表であることから「バランスシート」とも呼ばれています。

◀十島村の一般会計貸借対照表

（単位：千円）

［資産の部］（これまで積み上げてきた資産等の金額）		［負債の部］（将来の世代が負担しなければならない金額）	
1. 公共資産	55,399,224	1. 固定負債	4,104,862
有形固定資産	55,399,224	地方債	3,948,709
売却可能資産	0	退職手当引当金等	156,153
2. 投資等	2,371,064	2. 流動負債	545,271
投資及び出資金	2,636	翌年度償還予定地方債	527,868
貸付金	0	賞与引当金	17,403
基金等	2,364,222	負債合計	4,650,133
長期延滞債権	4,342	［純資産の部］（これまでの世代が負担した金額）	
回収不能見込額	△136		
3. 流動資産	1,151,719	1. 公共資産等整備国県補助金等	37,487,261
現金預金	1,150,163	2. 公共資産等整備一般財源等	16,111,432
未収金	1,556	3. その他一般財源等	673,181
回収不能見込額	△29	4. 資産評価額	0
資産合計	58,922,007	純資産合計	54,271,874
		負債及び純資産合計	58,922,007

※○有形固定資産：長期にわたって住民サービスを提供するために、村が利用または所有する道路や建物や土地などの有形資産を計上しています。

○売却可能資産：資産在庁が整備されると公共資産のうち、普通財産（行政サービスに供していない財産）の宅地、雑種地などを売却可能資産として計上することとなります。

○投資及び出資金：公営企業や公益法人等への団体に出資している金額を計上しています。

○貸付金：予算から、公営企業や外部の団体、個人などへの貸付金現在高を計上しています。ただし、未収金や長期延滞債権として振り替えられたものは除いています。

○基金等:①退職手当目的基金、②その他特定目的基金 (十島村では「地域振興基金」や「渡船基金」などがあります。)、③土地開発基金、④その他定額運用基金 (十島村では「住宅貸付基金」や「産業振興基金」があります。)、⑤退職手当組合積立金を指します。

○長期延滞債権：村税や使用料などの収入未済額のうち、前年度以前に発生した債権について計上しています。

○回収不能見込額：貸付金及び長期延滞債権のうち、将来回収不能となると見込まれるものを計上しています。過去 5 年間の滞納繰越収入 ÷ 滞納繰越額の平均値を用いて算出しています。

○現金預金 :①財政調整基金、②減債基金、③歳計現金 (出納閉鎖時の繰越残高で、歳入歳出差引額を計上) を指します。

○未収金：村税や使用料などの収入未済額のうち、当年度に発生した債権について計上しています。回収不能見込額については、「長期延滞債権等」の「回収不能見込額」と同様の方法で算出しています。

▼十島村の一般会計行政コスト計算書　（単位：千円）

〈A 経常行政コスト〉	3,408,990
1．人にかかるコスト	383,742
人件費	336,484
退職手当引当金繰入等	29,855
賞与引当金繰入等	17,403
2．物にかかるコスト	2,608,302
物件費	505,500
維持補修費	2,694
減価償却費	2,100,108
3．移転支出的なコスト	359,097
社会保障給付	40,358
補助金等	224,406
他会計等への支出額	74,521
他団体への公共資産整備補助金等	19,812
4．その他行政コスト	57,849
支払利息等	57,813
回収不能見込経常額	36
その他行政コスト	0
〈B 経常収益〉	47,823
1．使用料・手数料	29,073
2．分担金・負担金・寄付金	18,750
〈A-B　純経常行政コスト〉	3,361,167

2．行政コスト計算書

行政コスト計算書とは、十島村の 1 年間の行政活動のうち人的サービスや給付サービスなどといった資産形成に結びつかない行政サービスに係る経費とその行政サービスの直接の対価として得られた財源（使用料・手数料、分担金・負担金・寄付金）を対比させた財務諸表です。また、生活インフラ・国土保全、教育、福祉といった行政目的別に、それぞれの経費を把握することができます。

3．純資産変動計算書

純資産変動計算書とは、貸借対照表の純資産の部に計上されている各項目の数値が 1 年間でどのように変動したかを表している財務諸表です。純資産はこれまでの世代が負担してきた部分ですので、1 年間でこれまでの世代が負担してきた部分の増減を把握することができます。

4．資金収支計算書

資金収支計算書とは、歳計現金（＝資金）の出入りの情報を性質の異なる「経常的収支の部」、「公共資産整備収支の部」、「投資・財務的収支の部」の 3 つの区分に分けて表している財務諸表です。

「経常的収支の部」は、日常の行政活動による資金収支の状況、「公共資産整備収支の部」は、公共事業等に伴う資金の使途とその財源の状況、「投資・財務的収支の部」は、出資・貸付・村債の償還などの支出とその財源の状況を表しています。

▼十島村の一般会計純資産変動計算書　（単位：千円）

期首純資産残高	54,948,947
純経常行政コスト	△3,361,167
一般財源	1,852,259
・地方税	69,527
・地方交付税	1,641,041
・その他行政コスト充当財源	141,691
補助金等受入	911,780
臨時損益	△79,945
・災害復旧事業	△122,484
・公共資産除売却損益	42,539
資産評価替えによる変動額	0
その他	0
期末純資産残高	54,271,874

▶十島村の一般会計資金収支計算書

1　経常的収支の部	（単位：千円）
〈支出合計〉	1,416,605
人件費	396,399
物件費	505,500
社会保障給付	40,358
補助金等	224,406
その他	249,942
〈収入合計〉	2,705,457
地方税・地方交付税	1,710,568
国県補助金等	313,786
使用料・手数料	18,439
その他	662,664
≪経常的収支額≫	1,288,852
2　公共資産整備収支の部	
〈支出合計〉	1,131,838
公共資産整備支出	1,109,882
公共資産整備補助金等	19,812
他会計等への建設費充当財源繰出	2,144
〈収入合計〉	754,078
国県補助金等	597,994
地方債発行額	145,559
その他	10,525
≪公共資産整備収支額≫	△377,760
3　投資・財務的収支の部	
〈支出合計〉	829,095
基金積立額	320,132
定額運用基金への繰出	3
他会計への公債費充当財源繰出	5,426
地方債償還額	503,534
〈収入合計〉	73,274
貸付金回収額	10
公共資産売却収入	42,539
その他	30,725
≪投資・財務的収支額≫	△755,821
当年度歳計現金増減額	155,271
期首歳計現金残高	109,861
期末歳計現金残高	265,132

村営定期船 フェリーとしま

平成 29 年 6 月運行予定

※平成 29 年 4 月 1 日より運航時刻に変更があります。ご注意ください。

鹿児島 ↔ **十島村** ↔ 名瀬

十島村 土木交通課 航路対策室
TEL : 099-222-2101
フェリーとしま
TEL : 090-3022-4523

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
曜	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
予定		入 出		入	出		入		出		入	出		入 出		入 出		入	出		入		出		入	出		入		出
便区分		名瀬便			名瀬便				名瀬便			名瀬便		名瀬便（臨時便）		名瀬便			名瀬便				名瀬便			名瀬便				名瀬便

★ＪＡ役場派出所窓口担当の異動のお知らせ★

十島村役場の３階にあるＪＡ役場派出所の窓口において、３月に人事異動が行われました。前任者の田中さんと新任者の藤山さんのコメントを掲載します。

後任者
藤山　孝子さん

３月から役場派出所に異動になり、早２ヶ月が経ちました。不馴れですが、どうぞよろしくお願いします。

前任者
田中　裕美子さん

４年間お世話になりました。ありがとうございました。

広報としまへの広告掲載募集！

●広告の規格・掲載料（すべて消費税別）

縦 13.0cm× 横 8.5cm　　月額 10,000 円
縦 13.0cm× 横 17.0cm　　月額 15,000 円
Ａ4 サイズ１頁　　月額 30,000 円

●広告掲載の申し込み

広報誌広告掲載申込書（第１号様式）に広告案を添えて総務課にご提出ください。

※申込書のダウンロードを含め、詳細は十島村ＨＰをご覧ください。

編集／発行：十島村役場 総務課 広報係
〒892-0822　鹿児島市泉町 14-15　tel:099－222－2101
よろしければ皆さんのご意見・ご感想をお聞かせください。

十島村の人口・世帯数 平成 29 年 4 月末現在

島名	男性	女性	人口	世帯
口之島	67	60	127	77
中之島	90	75	165	92
平島	31	29	60	39
諏訪之瀬島	41	37	78	35
悪石島	42	36	78	41
小宝島	29	24	53	33
宝島	72	65	137	77
合計	372	326	698	394